



2011-2012年度 R. I. テーマ



「薔薇」 写真提供：長田 達明 会員



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- ◆ 会長 森 國光 ◆ 幹事 三浦 茂
- ◆ 発行 会報委員会 1月担当 畠 山

第2151回例会 1月10日(火)

- ◆ 点 鐘 森 國光 会長
- ◆ 司 会 三浦 茂 幹事
- ◆ 国家斉唱
- ◆ ローターソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会

☞ ハッピーバースデー ☞



1月2日
鈴木 君



1月19日
千田(記) 君



1月21日
横谷 君



1月23日
畠山 君

・ 1月19日 鍛治 夫人

◆ 会長挨拶

新年明けまして、おめでとうございます。
皆様にとりまして、素晴らしい1年に成ります様、心よりお祈り致します。

昨年は本当に早く感じた1年でした。東日本大震災のせいもあったでしょうが、この年齢になると多分、今年はずっと早く感じる年になるだろうと思います。

益々、スピードと変化が求められると思いますが、いかんせん身体も脳も追いつきません。ですからこれからは、仕事を選び減らすことでスピードUPし、もう一度、原点に帰ることで変化する。そんな年にしてみたいと考えています。

2日、3日と恒例の箱根駅伝が行われ、東洋大学が完全優勝しました。往復216kmを走って、昨年は僅か21秒差で早稲田に敗れました。負けたことが悔しさになり、屈辱がバネになり、チーム全体にデータ化出来ない、目に見えない一人一人の感情力が相乗効果を発揮し、今回の素晴らしい新記録に繋がったと言われています。屈辱と栄光。東洋大酒井監督は、この激しい精神の葛藤があったからこそ、今回の栄光にたどり着けたとコメントしていました。

ある企業では、強いブランド力を開発するとき、失敗しても開発担当者に執念が有る限り人事異動はさせないという。敗北をやる気にさせる環境こそが大切と言えます。

政治経済の予想は、全く先の見えない不安定な1年になると思いますが、最近は敗北続きの企業が悔しい思いをしているだけに、2012年は東洋大学のように勝利する企業がそろそろと、そんな1年になればと願っています。

残り半年、ご指導の程を宜しくお願い致します。

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 (第2610地区内創立順位19)

例 会：火曜日 12:30 於. いかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

◆出席報告（畠山委員）

- ・出席率 会員26名中(出席免除者1名) 20名 80.00%
- ・欠席者 廣濱君、石崎君、宮崎君、千田(則)君
関君の諸君
- ・前々回(2149回)の修正
メーク・アップ 木下君 74.07%→77.77%

◆幹事報告

○地区青少年交換委員会より

- ・2010-2011年度青少年交換学生帰国報告書
- ・ベルギー短期留学報告書

☆1月度例会案内

	活動内容	例会場
1/17(火)	魚津RC合同例会	喜 楽
1/24(火)	卓話担当：R情報委員会	信金5階
1/31(火)	卓話担当：久津谷君	信金5階

★1月のSAA補助

牧野君・畠山君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 403,000円

◆卓話「年頭所感」

会長・幹事・四大奉仕委員長



会 長
森 國 光 君

皆様のお陰をもちまして、残り半期を残すだけとなりました。

魚津西RC会長の名を汚さないようにと不安一杯でスタートしましたが、会員中間の寛容な心に支えられ乍ら、ここまでやって来ました。

会員減少という、非常に悩ましい問題を抱えながらのこれからのクラブ運営は、益々窮地に追いやられる、その現実にとどの様に立ち向かうか。皆様の協力で、1人でも多くの会員増強を願うばかりです。

後期の事業計画の中では、将来の魚津RCとの合同例会、3月の8クラブ合同例会が我々魚津西クラブの担当と言うことで、何とか重責を果たせようとして願っております。また、4月の中頃にGSE（研究グループ交換）で、カナダから4～5名の受け入れの要請がありました。少しでも有意義な受け入れが出来るように企画したいです。

状況を嘆かず、よく理解しながら良い方向に向かって次年度会長に繋げる様に、三浦幹事と力を合わせ努めさせて頂きます。とりあえず、今は何と言っても会員増強が急務です。皆様からの一つでも多くの情報を私たちに

提供して下さい。どうぞ宜しくお願い致します。良い1年に致しましょう。



幹 事
三 浦 茂 君

皆様のご協力で、幹事として半期を務めることができました。残り半期も、ご協力よろしくお願ひいたします。



クラブ奉仕委員長
横 谷 正 晴 君

新年を迎えて、いよいよ次の年度が始まると思うと緊張して来ております。

昨年、森会長の下でロータリーの勉強をと思っておりましたが、なかなか思うように行きませんでした。

さて、年末の年次総会では次年度四大奉仕委員長も承認いただき、3月11日にはPETS、5月20日には地区協議会と次年度の行事も始まります。今後、会員皆様には何かとお願ひする場面が増えてくると思いますが、よろしくお願ひします。

あと、会員減少の問題もあります。この件に関しては、年度に関係なく今すぐにでも取り掛からなくてはならない問題と思っておりますし、森会長、森本会員増強委員長とも協力して行動したいと思っております。



社会奉仕委員長
木 下 茂 君

12月4日、クラブ社会奉仕委員長会議に出席しました。

炭谷ガバナーの挨拶、高岡地区委員長の「66クラブの社会奉仕活動をより効果的にするために対話、共同活動を推進する」が話され、続いて社会奉仕事業について9件、環境保全事業について8件、各クラブ3分の時間内でクラブ活動事例報告がありました。

特に、質問が多かったのは、富山シティーRC（薬都とやまから仮設住宅に薬箱を支援）寄付約40万円の予算で、宮城県七ヶ浜RCを通じ、地元役場福祉課の支援要請に応えられたとの事です。

又、環境保全事業については、金沢RC（ゴリの里帰り計画）、加賀白山RC（ホテルの飛び交う杜づくり）で、継続性のある取組と事業の拡大化については、他の

事業体との共同、連継の必要も話題となりました。当クラブでは、今年春頃に過去に行った事業の手入れ等を行いたいと思っています。



職業奉仕委員長
千田 記也 君

ロータリーの右も左もわからないうちに委員長を仰せつかって、事業計画も前年度のものをコピーして出していました。皆様のご協力でメイン事業の地域職業人表彰及び優良従業員表彰は無事終わることができました。

もう一つ職場見学会が残っていますが、聞くところによると例年あまり実行されていないようなので、委員会で検討しながら考えていきたいと思っています。



国際奉仕委員長
清 河 豊 君

あけまして、おめでとうございます。

国際奉仕委員会は、国際奉仕の理念をよく理解し、関係委員会と連携を取りながら国際理解を高め国際親善活動を展開することを方針としております。

その中で、当クラブからは青少年交換プログラムの留学生の派遣やベルギーへの派遣は（3年サイクルの今年度は派遣の年）ありませんでした。しかし、地区の国際青少年交換委員会副委員長の慶野さんが、29名の学生の付添いとして、大役を果たしてこられ、卓話でその様子を報告されました。

次に世界社会奉仕活動への支援協力として、緊急車両の斡旋を計画しておりましたが、消防署を尋ねたときにはすでに、消防ポンプ車両1台の行き先が決っていました。JPR（NPO法人日本国際救急救助技術支援会）を通じてカンボジアに寄贈するそうです。これを申し込んだ人は個人の方で、「あなた達も同じところを通じて海外へ贈るんでしょからいいでしょ」と言われました。民間の方や、消防署がそういう取組みをしてくれるという事は、ロータリーの今までの取組みが認められたことになるのではないかと思います。

書き損じハガキの回収については、回収箱を会場の入り口に用意しておりますのでよろしくお願ひします。

それから、2月は世界理解月間ということで、国際奉仕委員会の卓話の機会がありますが、外部の方をお招きしての卓話を計画しております。

第2152回例会次第（魚津西RC） 第2809回例会次第（魚津RC）

平成24年1月17日(火)

- ◆点 鐘 森 國光 会長
- ◆司 会 三浦 茂 幹事
- ◆ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト
魚津市長 澤崎 義敬 様

◆ 会長挨拶

明けましておめでとう御座います。

皆様には、素晴らしい1年でありますようにと、御祈念致します。

さて、今日は魚津RC・魚津西RC合同例会に沢山のご参加をいただき有り難う御座います。また新年恒例となっていますが、今日は魚津市長の澤崎市長様にもおいで頂きました。大変お忙しい中を貴重な時間を頂きました事に感謝致します。

さて、去年は国内外で度重なる自然災害が発生しました。我が国では原発事故にも見舞われた激動の1年でありましたが、今年こそは災害の無いそして明るいニュースに包まれる1年でありますようにと、切に願っております。

近年ロータリー活動に於ける環境は年々厳しさを増しています。ロータリアンとしての自覚を強く感じながら、4つのテストに照らし合わせた職業奉仕・社会奉仕を通じて地域社会に貢献できる集団で在りたいと考えます。魅力あるクラブには必ず、会員増強が待っていると信じています。その為にも、もっと地域に愛される奉仕活動が出来ればと考えています。もう少し頑張りましょう。

今年は、世界中で選挙が多い年と聞いています。私たちの町、魚津市も4月に市長・市議選が行われます。今日は出馬表明をされています澤崎市長様には、折角の機会です。市政に懸ける熱き思いを、短い時間ではありますが、私たちに伝えて頂ければと期待致しております。

懇親会におきましては、大きな友情の輪を広げましょう。

◆ 出席報告（畠山委員）

- ・出席率 会員26名中(出席免除者1名) 15名 60.00%
- ・欠席者 畠山君、廣濱君、石崎君、久津谷君、木下君、宮崎君、鈴木君、千田(則)君、千田(記)君、関君の諸君
- ・前々回(2152回)の修正 なし

◆ ニコニコボックス

今週までの合計額 403,000円

◆卓話「市長卓話」



魚津市長
澤崎 義敬君

皆様明けましておめでとうございます。今日は魚津RC・西RCの恒例の新年夜間例会にお招きいただきありがとうございます。各ロータリークラブの皆さんには日頃から色々と魚津市の行政全般にもご協力いただき感謝申し上げます。昨年は暗いニュースが多い1年でした。皆さん方には今年は暗いニュースから脱却しようと新年をお迎えのことと存じます。

昨年のクリスマス寒波で4回程魚津市の除雪を致しました。年明けたらどうなるのかと心配しておりましたが、年明けから晴れマーク出てきてこのまま続けばと思っております。この場では毎年魚津市の話をしているのですが、新年会続きで出る時まですっかり卓話のことを忘れていて、出がけに秘書から卓話があると聞かされ何を話そうかと思っているところです。

今日熊谷組の社長さんが来られました。私の魚津高校の後輩ですが、年に2～3回市長室を訪ねてくれます。

その話の中で、宮城県知事は当初ゼネコンは遠慮してくれと言っていたようですが、宮城県が発注しようとした仕事が半分以上の入札が不調だったそうです。瓦礫の処理が主な仕事なので間に合わないということだそうです。そのため、今度はゼネコンに力を貸してくれという話に変わったそうです。これから北陸の方にもいろんな復興の願いが来ると思ったりもしております。年度末・年度の初めには集中的な事務事業が増えており、いろんなところから職員を1人2人貸せないかということでやってきます。人間は絆で助け合おうと言いながら、現実的に福島県に行きたがる職員がいないということです。しかし魚津では4～5人の若い職員が行ってもいいですという自発的な声もでています。

全国の市長会でも皆で応援しようと確認しております。福島への協力を拒む市長もおられます。ですが我々は出来るだけの協力をしないとイケないと思っております。

昨年の7月の新潟・福島の高雨災害がありました。新潟県の十日町市と魚津市は災害時の応援協定を結んでいる市でして、魚津市から土木職員が昨年秋から2名派遣しておりまして、一年程いてほしいとのことでした。

魚津市も今年4月に市長選と議員改選がございますが、まずは魚津市の市制60周年を迎えます。4月7日には皆さんにも来ていただき、魚津市の還暦祝をしながら新しい魚津づくりを進めなければならないと思っております。

今まで以上に我々に対するご理解・ご協力を賜りたいと思います。

★新年合同懇親会へ★

◇開会挨拶 魚津RC 寺崎会長

みなさんこんばんは。澤崎市長さん我々のためにお忙しい中ありがとうございます。

ロータリーは2つに分れておりますが、目指すところは1つです。本日その2つのロータリーと一緒にお酒を酌み交わすことはとてもうれしいことです。西クラブは同士であり兄弟だと思っています。

今日は西クラブさんにお世話になります。よろしくお願ひします。

◇乾杯 吉田ガバナー補佐

◇歓談・食事

◇閉会の挨拶 横谷会長エレクト

